

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

| | |
|------------|--|
| 事業名 | きのこの生産資材導入支援事業費 (R7国補正 重点支援地方交付金活用事業) |
|------------|--|

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 資源活用係 電話番号：058-272-1111(内4363)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **29,946 千円** (前年度予算額：**0 千円**)

＜財源内訳＞

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 29,946 | 29,946 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 決定額 | 29,946 | 29,946 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

きのこ栽培に使用する小麦ふすま、おが粉等の生産資材価格が上昇し、きのこ生産者の経営が圧迫されている。

きのこ生産が継続できるよう、生産資材の上昇価格に対し、一部を支援することにより、経営体質の強化を行うことが必要である。

そのため、国の「重点支援地方交付金」を活用し、特用林産生産資材の物価高騰に対して助成する。

(2) 事業内容

・生産資材導入支援

高騰する小麦ふすま、おが粉など次期生産に必要な生産資材の導入費の一部を支援する。

補助対象者：市町村、森林組合、森林組合連合会、生産森林組合、農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、民間事業者（大企業除く）

補 助 率：定額の支援単価×次期生産量

※支援単価：県が生産資材の単価上昇を踏まえた単価に1/2を乗じたもの

※次期生産量：令和7年（年度）の生産量

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・補助金の財源は国庫支出金のため県負担なし
- ・補助率 県が定めた単価の1/2

(4) 類似事業の有無

燃油・資材の森林由来資源への転換等対策補助金

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|---------|
| 補助金 | 29,946 | |
| 合計 | 29,946 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県特用林産の振興方針（第2期2次改訂）；R6～R8年度

4. 各分野における基本戦略

(1) 生産資材対策

県内の森林資源を最大限活用するため、県産原木等の利用促進、（中略）を強化していく。

目標：令和8年度まで4,500 tのキノコ生産量を維持することを目指す。

令和6年度に岐阜県特用林産の振興方針（キノコ類）を改正

- ・期間 R6～R8
- ・キノコ類のみでなくキノコ以外の特用林産物を追加

(2) 国・他県の状況

重点支援地方交付金は、国の事業であり全国的に実施されている。

(3) 後年度の財政負担

岐阜県特用林産の振興方針（第2期2次改訂）の計画期間である令和8年度まで実施し、終年度中に必要な検討を行う。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

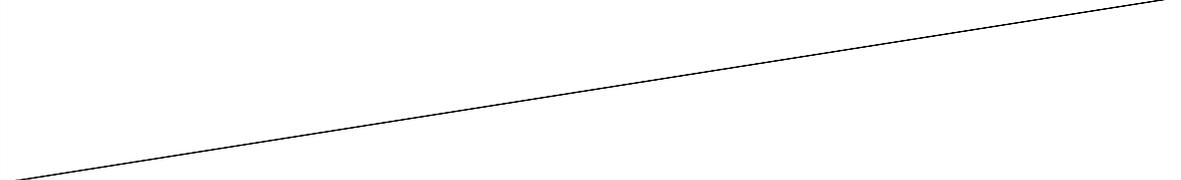
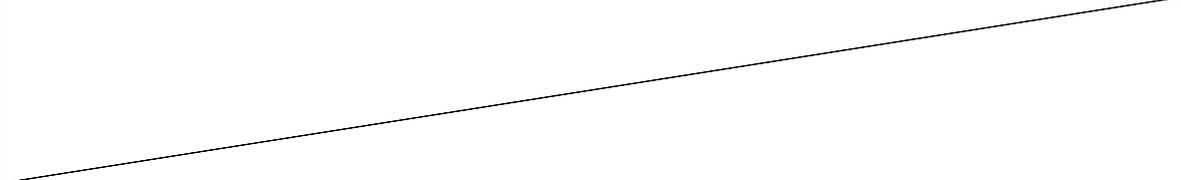
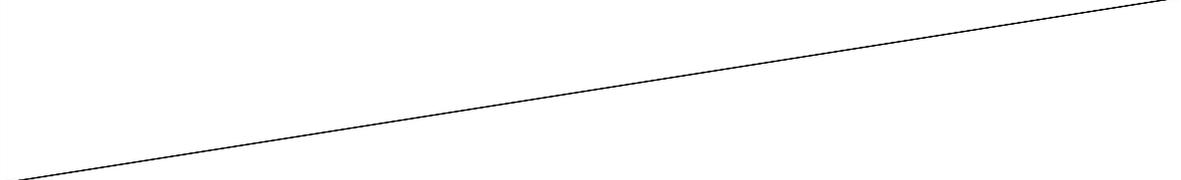
・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 岐阜県特用林産の振興方針に基づき、岐阜県内のキノコ生産量について、令和8年度までに4,500tへ増加するようにする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R2~4) | R5年度 実績 | R6年度 実績 | R7年度 目標 | 終期目標 (R8) | 達成率 |
|----------------|-----------------|------------|------------|------------|--------------|-----|
| | | | | | | |
| ①キノコ生産量 (t) | 4,100 | 3,703 | 3,660 | 4,400 | 4,500 | 81% |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|---|
| 令和 4 年度 |  指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |
| 令和 5 年度 |  指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |
| 令和 6 年度 |  指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ % |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p> | |
| (評価) | <p>3 目標値を達成するためには、キノコ生産者が継続して生産することが不可欠であることから、生産資材の高騰に対する支援への取組の必要性は高い。</p> |
| <p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p> | |
| (評価) | |
| <p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p> | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|--|
| <p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 キノコ生産者の高齢化に伴う減少や、キノコの販売価格の上昇が見られない中、生産資材の高騰により、経営環境の悪化が見られる。 経営環境改善のためには、生産資材等の価格低下や効率的な使用が必要である。</p> |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか キノコ生産量を増加させるためには、生産者の減少の歯止め、キノコ生産に対する負担軽減を図るため、今後も支援は必要である。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|---|--------------|
| <p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p> | <p>【〇〇課】</p> |
| <p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p> | |